



飲食店でも、家庭でも きっちり防ごう食中毒!

平成 30 年 7 月 4 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 26 週分・6 月 25 日～7 月 1 日)

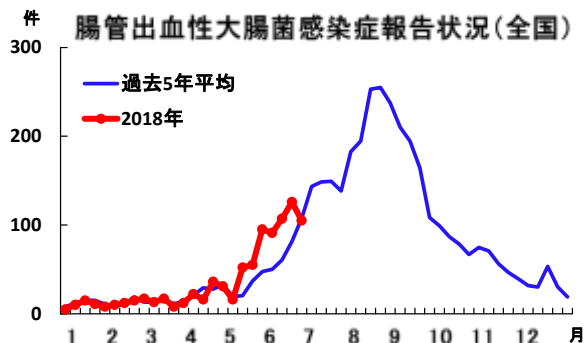
《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症 イーヘック

全国の腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症の報告数は、905 件 (前年同時期 713 件) となっており、第 23 週以降 3 週続けて、100 件を超える報告がありました。例年 8 月にピークに達するため、今後さらに報告数が増加すると思われます (図)。県内の報告数は、7 月 3 日現在、7 件 (前年同時期 11 件) となっています (表)。

O157 や O26、O111 に代表される EHEC は、強力な毒素 (ベロ毒素) を産生する大腸菌です。感染すると激しい腹痛や血便などの症状が現れます。一部の患者は溶血性尿毒症症候群 (HUS) や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、小児や高齢者は HUS や脳症になりやすいので注意が必要です。

市販されている生肉や野菜には、EHEC をはじめとする食中毒菌が付いていることがあります。次の事項に気を付けて、食中毒の発生を防ぎましょう。



腸管出血性大腸菌感染症報告状況(富山県)
2018年7月3日現在

O血清群	平成30年	平成29年 同時期	平成29年 総数
O157	0	5	15
O26	3	6	11
O111	2	0	0
O128	1	0	0
O91	0	0	3
O146	0	0	1
型不明	1	0	2
合計	7	11	32

- ①調理や食事の前、トイレの後は石けんで手を洗う
- ②食材は調理までの間、低温 (10℃以下) で保存する
- ③サラダなど、生で食べる野菜は流水でしっかり洗う
- ④食肉やレバーなどの内臓肉は生・加熱不十分な状態で食べない

食中毒予防の3原則

- つけない
- 増やさない
- やっつける



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 3 件 (①10 歳代、女性 ②80 歳代、女性 ③90 歳代、男性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (90 歳代、男性、G 群)

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (70 歳代、女性)

梅毒 1 件 (第 25 週診断分: 30 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	6.17	6.38	↓
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	2.38	↓
3 位	咽頭結膜熱	0.90	0.90	→
4 位	突発性発しん	0.62	0.41	↑
5 位	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.60	0.00	↑
6 位	伝染性紅斑	0.28	0.38	↓

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第26週 平成30年6月25日～平成30年7月1日）

分類	疾患	今週報告分（第26週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					3	3	5	8	29	10	42	94
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									2	1	4	7
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症							1	1	2	2	17	23
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1		5	6
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1		1	4		4	2	3	13
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	2	2	5	4	12	25
	水痘（入院例）							1		1		1	3
	梅毒									1		6	7
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											1	1
	風しん										1		1
定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	1					1	2,230	1,824	3,485	2,441	5,336	15,316
		0.14					0.02						
	RSウイルス感染症			1		5	6	35	20	51	24	220	350
				0.13		0.50	0.21						
	咽頭結膜熱	6	1	12	2	5	26	148	52	215	22	251	688
		1.50	0.33	1.50	0.50	0.50	0.90						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	2	9	6	6	32	105	84	422	190	541	1,342
		2.25	0.67	1.13	1.50	0.60	1.10						
	感染性胃腸炎	29	36	29	7	78	179	696	524	782	171	1,983	4,156
		7.25	12.00	3.63	1.75	7.80	6.17						
	水痘	1		1		2	4	12	4	85	48	79	228
		0.25		0.13		0.20	0.14						
	手足口病		2	1		3	6	1	10	22	12	100	145
			0.67	0.13		0.30	0.21						
	伝染性紅斑			6	2		8	3	1	79	38	22	143
				0.75	0.50		0.28						
	突発性発しん	2	1	9	2	4	18	38	27	112	33	84	294
		0.50	0.33	1.13	0.50	0.40	0.62						
	ヘルパンギーナ		4			2	6	1	9	1	1	4	16
			1.33			0.20	0.21						
流行性耳下腺炎	1		1		3	5	3	5	13	3	20	44	
	0.25		0.13		0.30	0.17							
急性出血性結膜炎										13		13	
流行性角結膜炎								2	11	4	1	3	21
細菌性髄膜炎					1	1					5	5	
					1.00	0.20							
マイコプラズマ肺炎					1	1	2	2	4	4	7	19	
					1.00	0.20							
クラミジア肺炎										1	1	2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）			2		1	3	3		4	2	7	16	
			2.00		1.00	0.60							
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	51	55	39	150	95	390	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。